

はじめてのタクシー

URL: https://youtu.be/lspotXgR5_c

今回は「はじめてのタクシー」を学びながら、日本語を勉強しましょう。
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には " ふりがな " があります。
後半は少しだけ速く (+20%) なり、漢字に " ふりがな " はありません。
学習にお役立ててください。

■私のこと

私の名前はさくらです。高校生で、大阪にすんでいます。
ある日、おばあちゃんの家に行くよていが ありました。でも、朝から大雨でした。
いつもは自転車で行きますが、雨の日は使えません。歩いて行くと、時間がかります。
おばあちゃんとのやくそくの時間におくれるとこまるので、母が「タクシーを使ったら？」と言いました。

私は、タクシーにのったことがありませんでした。
どこでタクシーをとめるのか？ どうやって行き先を言うのか？ ぜんぜん分かりませんでした。
でも、母が「タクシーの運転手さんは親切だよ」と言ったので、安心して使うことにしました。

タクシーは、べんりなのりものです。自分の行きたいところまで行けるので、時間がないときや雨の日にととてもやくに立ちます。不安もありましたが、私は、その日タクシーにのって、はじめてのけいけんをしました。

■^{にほん}日本のタクシーのふんいき

^{にほん}日本のタクシーは ^{あんぜん}安全できれいです。^{くるま}車の中には ^{なか}ゴミがなく、せきもよごれていません。

^{うんでんしゅ}運転手さんは、^{くろ}黒い^{ふく}服とネクタイを ^つつけています。しずかですが、あいさつすると、やさしく^{こた}答えてくれます。

タクシーは、^{とし}年をとった^{ひと}人、^{ひと}スーツの人、^{ひと}かんこうきゃくなど、いろいろな^{ひと}人が使っています。

^{あめ}雨の日には、たくさんの^{ひと}人がタクシーを^{つか}使います。^{でんしゃ}電車やバスにのるより、ぬれずにすむからです。^でかぞくで出かけるときや、^{おお}大きな^{にもつ}荷物がある日にも使われます。タクシーは、たくさんの^{ひと}人のくらしを^て手つだっているのだとわかりました。

タクシーの^{なか}中では、しずかにすわっている^{ひと}人が多いです。^{おほ}話すときは、やさしく「すみません」と ^い言えば ^{だいじょうぶ}大丈夫です。

タクシーの^{うんでんしゅ}運転手は、^{まいにち}毎日たくさんの^あおきゃくと会います。そのため、タクシーの^{なか}中で、^き気持ちよく^きすごせるように^き気をつけている^{ひと}人が多いです。

^{わたし}私は、タクシーにのってみて、いいところをたくさん^み見つけました。またのりたと思いました。

■タクシーの見つけかた

日本^{にほん}でタクシーを見^みつけるには、いくつか^{いくつか}の方法^{ほうほう}があります。はじめて^{ひと}の人^{ひと}でも、安心^{あんしん}して使^{つか}える方法^{ほうほう}です。

① 駅^{えき}の「タクシーのりば」^いに行く

おお大きな駅^{えき}の前^{まえ}には、「タクシーのりば」があります。そこでは、タクシーがならんでいて、お客^{きやく}さんをまっています。人^{ひと}は、じゅんばん^{ばん}にま^まって、いちばん前^{まえ}のタクシーにのります。わかりやすくて、安全^{あんぜん}です。はじめて^{ひと}の人^{ひと}にもおすす^{ほうほう}めの方法^{ほうほう}です。

② 道^{みち}を走^{はし}っているタクシーをとめる（「ながしのタクシー」）

みち道^{みち}をはし^{はし}っているタクシーを 手^てをあげてとめることもできます。このようなタクシーは、「ながしのタクシー」とよばれています。

でも、どのタクシーでもとまるわけではありません。車^{くるま}のうえについているランプ^{らんぷ}を見^みてください。

ランプがついているとき → すで^{きやく}にお客^{きやく}さんがのっています。とめられま^{せん}せん。

ランプがついていないとき → お客^{きやく}さんがいません。手^てをあげればとめるこ^とができます。

タクシーをとめるときは、安全^{あんぜん}な場所^{ばしょ}で手^てをあげてください。車^{くるま}のすぐ近^{ちか}くま^まで行^いかないようにしまし^{ょう}ょう。道^{みち}の右^{みぎ}や左^{ひだり}をよく見^みて、車^{くるま}がとまりやすい場所^{ばしょ}をえらびま^{しょう}しょう。運転手^{うんてんしゅ}さんは、すぐ^きに気^きがついてとまってくれます。

③ スマートフォンのアプリでタクシーをよぶ

さいきん最近^{さいきん}は、スマホのアプリ^{つか}を使ってタクシー^{ひと}をよぶ人もふえています。

「Uber^{うーばー}」や「DiDi^{でいでい}」などのアプリ^{つか}を使うと、自分^{じぶん}がいる場所^{ばしょ}にタクシー^きが来てくれます。アプリは、スマホのいちじょうほう^{つか}を使って、いちばん^{ちか}近くのタクシー^{ちか}をさがしてくれます。

とてもべんりなので、日本^{にほん}に住^すんでいる人も、旅行^{りょこう}で来た人もよく使^{つか}っています。

でも、地方^{ちほう}ではタクシー^きのかずが少^{すく}ないです。駅^{えき}がとおい場所^{ばしょ}や、電車^{でんしゃ}がない場所^{ばしょ}では、タクシー^みを見つけにくいことがあります。そんなときは、まえもってタクシー^{かいしゃ}会社に電話^{でんわ}をして、よやくをしておくといいです。

自分^{じぶん}にあったほうほう^しを知^しっておくと、タクシー^{つか}を使^{つか}いたいときに安心^{あんしん}です。

■ タクシーののりかた

日本^{にほん}のタクシー^きには、少し^{すこ}特別^{とくべつ}なしくみがあります。いちばんのちがいは、「ドア^{じどう}が自動^{ひら}で開く」ことです。

タクシー^きの運転手^{うんでんしゅ}さんがボタン^{ボタン}をおすと、ドア^{ひら}がゆっくり開きます。

お客^{きやく}さんは、自分^{じぶん}でドア^あを開けなくても、そのまま車^{くるま}にのることができます。

おりるときも 同様^{おな}です。ドア^{うんでんしゅ}は運転手^{うんでんしゅ}さんが 中^{なか}からしめてくれます。

手^てでドア^てをさわらないでください。まちがって手^てを出すと、ドア^だに手^てをはさんでしまうことがあるのであぶないです。

タクシーにのるときは、「こんにちは」「よろしくおねがいします」など、あいさつのことばを使うととてもよいです。

運転手さんも、「はい、どうぞ」「ありがとうございます」としずかにこたえてくれることが多いです。

日本では、ていねいなことばやあいさつを大切にする文化があります。

日本のタクシーの中では、しずかにすわっている人が多いです。

私もはじめてのとき、外のけしきを見ながら、しずかにすごしました。

運転手さんは 仕事なので、たくさん話しかけないようにしている人もいます。

でも、こまったことやわからないことがあったときは、「すみません」と声をかけても大丈夫です。

多くの運転手さんは、やさしく答えてくれます。

■行きたい場所の伝えかた

タクシーにのったら、運転手に行きたいところを伝えます。日本では、行き先を言うときに「〇〇までおねがいします」と言うのがふつうです。たとえば、「大阪駅までおねがいします」や、「〇〇ホテルまでおねがいします」と言います。

でも、場所の名前だけでは、わかりにくいこともあります。とくに、小さな店や、ちいきの場所の名前は、運転手が知らないこともあります。そんなときは、スマホの地図を見せると、とてもわかりやすくなります。住所が書いてあるページを見せてもよいです。

スマホで地図を見せるときは、なるべく大きくひらいて見せましょう。「ここです」と言って、地図をさすと、運転手もわかりやすいです。

はじめての人にとって、行き先^{い さき つた}を伝えるのはすこしむずかしいかもしれません。でも、あわてずにゆっくり話^{はな}せば伝わります。運転手^{うんでんしゅ}もしっかり聞^きいてくれます。

日本^{にほん}では、すべての運転手^{うんでんしゅ}が英語^{えいご}を話せるわけではありません。そのため、ことばがつうじないこともあります。でも、しんぱいはいりません。ほんやくのアプリ^{つか}を使って、つうやくしてくれる人もいます。

大切^{たいせつ}なのは、行き先^{い さき}がわかるように工夫^{くふう}することです。地図^{ちず}を見せる、メモ^みを見せる、アプリ^{つか}を使うなど、いろいろなほうほうがあります。

タクシーは、自分^{じぶん}の行きたい所^いに行けるべんりなのりものです。行き先^{い さき つた}の伝えかたを知^しっておくと、もっと安心^{あんしん}してタクシーを使うことができます。

■タクシーのねだんのしくみ

タクシーのねだんは、はじめての人^{ひと}にとって少し^{すこ}わかりにくいかもしれません。でも、しくみを知^しっておくと安心^{あんしん}です。日本^{にほん}のタクシーでは、のったきよりや時間^{じかん}によってねだんがきまります。走るあいだに、すこしずつお金^{かね}がたされていきます。

さいしょのねだんは、タクシーによってちがいますが、だいたい400円^{えん}から800円^{えん}のあいだです。そして、きよりや時間^{じかん}ですこしずつ高^{たか}くなります。

夜^{よる}は、ねだんが高^{たか}くなる時間^{じかん}があります。これは「しんや料金^{りょうきん}」とよばれています。夜10時^{よる じ}から、朝^{あさ}の5時^じまでは、ふだんのねだんよりもすこし高^{たか}くなります。日本^{にほん}では、この時間^{じかん}は仕事^{しごと}が少ないため、タクシーの料金^{りょうきん}が高^{たか}くなります。夜^{よる}にタクシーを使うときは、すこし高^{たか}くなることを知^しっておくとよいです。

タクシーが高^{こう}そくどうろを使うこともありますが。高^{こう}そくどうろとは、車^{くるま}だけが走る、スピードの出せる道^{みち}のことです。この道^{みち}を使うと、タクシーのねだんとはべつに、お金^{かね}がかかることがあります。そのばあいは、タクシーをおりるときにいっしょにはらいます。

日本のタクシーは、ねだんがきちんときまっています、まちがえることはほとんどありません。運転手は、メーターを使ってけいさんします。メーターはうそをつかないので、安心です。

日本では、タクシーは長いきよりよりも、みじかいきよりで使う人が多いです。たとえば、雨の日や、重いにもつがある日などです。ちょっとだけのるときに、タクシーはとてもべんりです。

タクシーのねだんのしくみを知っておくと、あわてずにすみません。はじめてでも、メーターを見ながらすごせば、安心してタクシーにのることができます。

■お金のほらいかた

タクシーをおりるときには、お金をはらいます。日本のタクシーでは、いくつかのほらいかたがあります。いちばん多いのは、げんきんです。げんきんとは、ふつうのお金のことです。日本では、げんきんを使う人がまだたくさんいます。だから、どのタクシーでもげんきんではらうことができます。

でも、げんきんだけではありません。クレジットカードが使えるタクシーもあります。カードを読みこむきかいが車の中にあると、カードでらくらくはらうことができます。カードでのしはらいは、すばやくてとてもべんりです。

そのほかにも、電子マネーが使えるタクシーもあります。たとえば、「Suica」や「PASMO」などのカードです。これらは、電車やバスでも使うことができるカードで、日本に住んでいる人はよく使っています。また、「PayPay」などのアプリを使って、スマホではらうこともできるタクシーがあります。

ただし、すべてのタクシーがカードや電子マネーが使えるわけではありません。中には、げんきんしか使えない車もあります。だから、タクシーにのるまえに、たしかめておくとう安心です。

タクシーでカードや電子マネー（スマホ決済など）が使えるかどうかは、車のまどやドアに はってあるシールを 見ると わかることがあります。

たとえば、こんなシールが はってあることがあります。

「カードOK」

「Pay Pay 使えます」

「Suica 使えます」 など。

これらのシールがはってあれば、そのタクシーではクレジットカードや電子マネーが使えるという意味です。

もしシールがなかったり、見えにくいときは、のる前に運転手さんに聞くのが安心です。

「カード、使えますか？」

「Pay Pay は使えますか？」 などと聞いてみましょう。

やさしく教えてくれるので、気になるときはえんりよせずにたずねてください。

日本では、1円や5円、10円などの コイン（小さなお金）を じゅんびしておく人もいます。

コインをつかえば、おつりがいらないので、しはらいがかんたんにすみます。

チップはひつようありません。日本ではチップのしゅうかんがありません。そのため、しはらいのお金だけで大丈夫です。

■タクシーをおりるときのマナー

タクシーにのったあと、おりるときにもいくつかのマナーがあります。

まず、もくてきちについたら、メーターを見^みます。メーターには、のったきよりと、はらう金^{きん}がく^でが出ています。その数字^{すうじ}を見て、運転手^{うんてんしゅ}にお金^{かね}をわたします。カードやスマホではらうときも、メーターのお金^{かね}を見てからはらいます。

しはらいがおわると、運転手^{うんてんしゅ}がドア^あを開けてくれます。日本のタクシーのドアは自動^{じどう}です。手でドアをさわらなくても、運転手^{うんてんしゅ}がボタン^あで開けてくれます。おちついてドアが開^{ひら}くのを待^まってください。まちがって手でしめようとすると、きかいがこわれたり、けがをし^またりすることもあります。

おりるときは、わすれ物^{もの}がないかどうか、せきをよく見^みてください。かばんやスマホをおいてきてしまう人^{ひと}もいます。日本^{にほん}では、タクシーの中^{なか}にわすれ物^{もの}をしても、見^みつかること^{おお}が多いですが、できるだけ気^きをつけたほうがよいです。

タクシーから出^でたら、「ありがとうございました」と言^いうと、運転手^{うんてんしゅ}もうれしい気^きもちになります。日本^{にほん}では、あいさつやお礼^{れい}のことばを大切^{たいせつ}にする人^{ひと}が多いです。

タクシーをおりるときのマナー^しを知^しっていると、自分^{じぶん}も気^きもちよくすごせます。運転手^{うんてんしゅ}も、しんせつ^{おお}にしてくれること^{おお}が多いので、おたがいにいい気^きもちでタクシー^{つか}を使うことができます。

■タクシーにのってよかったこと

はじめてタクシーにのって、タクシーはとてもべんりなのりものだと思いました。
た。自転車で行けない雨の日でも、ぬれずに出かけることができました。車の中はあたたかく、しずかで、安心してすわることができました。

タクシーにのったおかげで、おばあちゃんとの やくそくの時間におくれずにすみしました。

運転手の人も、しずかでやさしく、行きさきもすぐにわかってくれました。

タクシーのまどから見た雨の町は、いつもとちがって見えて、すてきでした。
いつもの道でも、車の中から見ると、ちがうはっけんがあります。

ねだんはすこしかかりますが、そのぶんべんりで、使ってよかったと思いました。
た。タクシーは、日本で安心して使えるのりものです。また大切な日や、こまったときには、使いたいと思います。

「はじめてのタクシー」はいかがでしたか。
コメント欄から感想をみんなに教えてください。
それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Easy Japanese-listening-SUSHI